

## 紫友同窓会 2026年度評議委員会 資料

評議委員の皆様へ

紫友同窓会

会長 鈴木善博 (029C)

平素は同窓会活動へのご協力をいただき、誠にありがとうございます。また本日は、お忙しいなかお集まりいただき、重ねて御礼申し上げます。昨年の評議委員会において新会長の任をお受けして以降、会の運営に携わる中で考えてきたことの一端をここに記したいと思います。

今ある紫友同窓会の姿は、長年にわたる多くの方々のご努力の積み重ねの上に成り立っています。先々代会長の故・俵一雄さん（018）が創立100周年を機に同窓会の裾野を大きく広げられ、その後、先代会長の戸叶司武郎さん（027）が、コロナ禍という同窓会活動そのものが厳しい制約を受けた時期においても、学校とのつながりを丁寧に維持し、関係性を深めてこられました。現在の紫友同窓会は、こうした歩みの延長線上にあるものと認識しています。

特にコロナ禍において、対面での活動が困難となる中でも、学校との信頼関係を大切に続けてきたことは、同窓会にとって大きな財産であり、今後も大切に継承すべき基盤であると考えています。その上で、今後の運営において重視したいのは、同窓会を特定の個人の献身や負担に依存する形から、より持続可能で無理なく運営できる体制へと、段階的に整えていくことです。

これまでの同窓会が、強い責任感と熱意を持つ個人々々の努力によって支えられてきたことには深い敬意を表しつつ、今後は「永続できる仕組み」と「役割の分散」によって、多くの人が加重的な負担なく関わられる形を目指す必要があると考えています。

また、学校との関係についても、特定の人に依存するのではなく、これまで培われてきた考え方や取り組みの積み重ねを、組織として共有・継承していく形へと、徐々に移行していくことが重要であると認識しています。

これまで築かれてきた信頼関係や文化を尊重しながら、「無理なく続けられる同窓会」「担い手が自然に育つ同窓会」を目指し、一歩ずつ整えていきたいと考えています。

本件については、皆様の率直なご意見を伺いながら、ともに考えていければ幸いです。

## ● 2025年度各局・委員会等事業活動報告

### (1) 基金会計対象局

#### ① 交流局

同窓生相互の交流と親睦を図るために、紫友スタジオの運用、イベントの開催、同窓生関連情報の共有等を行いました。

#### ◆ 紫友スタジオの運用

- ・クラス会・部活OB/OG会をはじめとする同窓生の交流・諸活動の場として2018年度に開設した紫友スタジオを、2025年度も運用しました。利用件数は前年度から微増の140件でした。
- ・2025年度はクラス会・部活OB・OG会としての利用のほか、クラス会等の幹事会や母校支援の一環として学校の物理研究会ロケット班の活動やPTAの会議スペースとしての利用もありました。
- ・運用面の改善として、2025年度に運用マニュアルの更新を行うほか、電子錠を導入しました。
- ・今後の課題として、特に平日における利用頻度の向上、利用者層の拡大、ごみ処理等の管理面での改善事項があり、2026年度も引き続き対応を進めていきます。

#### ◆ イベントの開催

##### ● 紫友オンラインセミナー

さまざまな分野で校是「立志・開拓・創作」を体現する同窓生を地理的な制約を超えて知ることのできるオンラインセミナーは、2025年度に5年目を迎えました。

2025年度は3回実施し、各回ともPTAや現役生を含め100名強の申込みがありました。

	講師	テーマ
第22回 2025/4/26	渡邊和真さん (064B・中等1期) 情報処理安全確保支援士	知らぬ間に迫る脅威から身を守るーいまこそ知っておきたいサイバーセキュリティー
第23回 2025/6/28	今井(大石)麗子さん (040A) 松竹株式会社映画営業部	ウクレレが奏でる命の賛歌ー膠原病による骨破壊と向き合い、生まれてきた意味を見つけるまでー
第24回 2026/3/1	北 潔さん (021H) 長崎大大学院教授・東大名誉教授	4年制の高校に入学してースローペースも悪くないー

また関連して、PTA主催のセミナー（「上方落語への招待」講師：桂春雨(かつらはるさめ)師匠(034C 中田雅也さん)、上方落語家）に同窓生も参加できる機会を設けました。

##### ● Global懇談会

第6回Global懇談会を開催し、異国の地で活躍する同窓生をオンラインでつなぎました。

	講師	テーマ
第6回 2025/5/3	川村宣人さん (045B)	メキシコに移住するまでの生い立ち、高校～大学時代、メキシコでの生活体験

##### ● 芸能祭直前リハーサル観覧

主に在校生と面識のある若い同窓生が、後輩の様子を見守りながら同世代と再開する機会となりました。

##### ● ホームカミングデー

例年開催していたホームカミングデーは、場所の確保が困難であったこと等から開催を見送りました。

#### ◆同窓生相互の交流支援

同窓生が行うイベント・会合・活動などの情報を幅広く募集し、広報局・事務局と連携し、開催案内や活動報告などとして同窓会ホームページや紫友ニューズレター等を通じて同窓生に共有しました。

##### 【主な交流状況】

クラス会	011B、012E、012F、016B、016H、019D、019E、023F、030A、030D、033H、035I、036E、036G、037B、044B
OB・OG会	バスケットボール部、五中クラブ（バレーボール部）
紫友まち歩き	6回のまち歩きを開催
紫友経済人交流会	2025年6月14日に第6回紫友経済人交流会を開催 (ホームページ) <a href="https://shiyu-keiei.com/">https://shiyu-keiei.com/</a>
紫友美術会	定時総会・講演会・スウェーデン絵画展鑑賞会、等を開催
その他	演奏会・コンサートの開催、博覧会出展、個展開催、等同窓生が関係するイベント等の案内の紹介

※このほか、037の学年同期会(2026/11開催)などが2026年度に予定されており、一部は2025年度中にホームページで案内しました。

## ②教育支援局

「一般財団法人 紫友会」(以下、財団)とともに、教育活動(SSH含む)・クラブ活動・学校生活活動等それぞれへの支援を合計約230万円(財団からの支援を含めると約350万円)、以下のとおり実施しました。2025年度も、学校からの要望には概ね対応できました。支援の財源である同窓生からの寄付金の状況を鑑みて次年度も支援を継続してまいります。

#### ◆教育支援活動

##### ●海外研修支援

2025年度より米国シアトル市のワシントン州立大学への夏期短期研修プログラムが開始され、参加者の渡航費用の一部として約173万円(財団法人紫友会と折半、同窓会負担分約87万円)を支援しました。

##### ●SSH(スーパーサイエンスハイスクール)支援

2025年度はSSH第4期5年間の4年目でした。現役生の活発な研究活動が続いています。SSH第4期の研究開発課題は、『「小石川リサーチラーニング」による、世界の科学技術を牽引する人材の育成』です。

「小石川フィロソフィー」や「Advanced小石川フィロソフィー」発表会、SSH運営指導委員会では、西村圭一氏(039G、東京学芸大学教授)、木村薫理事(027C、東京大学名誉教授)を含む5人のSSH運営指導委員がサポートしています。また、2025年11月の研究室訪問は、小出大介氏(038B、東京大学特任教授)、林直亨氏(040A、早稲田大学教授)の2人の同窓生の研究室を訪問しました。12月の分野別大学模擬講義では、小出大介氏、林直亨氏に加えて、吉川一朗氏(040E、東京大学教授)の3人(全15人中)の同窓生が登壇しました。「グローバルカフェ」「小石川セミナー」では第一線で活躍する研究者や大学生の同窓生なども講師に迎えて講演会を開催しています。諸先輩の知見や経験・人脈による支援を継続していきます。

##### ●AI教育支援

鈴木善博会長(029C)の紹介により、2023年度・2024年度に続いて2025年度も3月に、

理化学研究所の橋田浩一先生によるグラフ文書の講義と演習が行われました。2025年度から支援に参加した矢野新一郎理事（037B）が2026年度の支援に向けて学校側と調整中です。

#### ◆部活動支援活動

主に各クラブ活動における備品類の貸与と全国大会等への遠征費の助成を行いました。具体的な貸与物品名につきましては、『紫友同窓会ホームページ』トップページ右のインデックス「クラブ活動備品支援」欄の「貸与品のリスト」からご覧ください。

##### 【2025年度実績】

###### ●音楽系クラブ

- ・楽器/スピーカーの貸与：軽音楽研究会、フォークソング研究会
- ・楽器の修理：軽音楽研究会、吹奏楽部、小石川フィルハーモニーオーケストラ部

###### ●文化系クラブ

- ・「全国高校生 花生けバトル全国大会」旅費助成：華道部
- ・「全国高校生 英語ディベート大会」旅費助成：英語研究会

###### ●理科系クラブ

- ・「ロボカップジュニア全国大会」旅費助成：物理研究会
- ・パリ航空宇宙ショー内で開催される世界大会(世界一決定戦)出場支援：物理研究会  
※物理研ロケット班は2025年2月の全国大会で優勝し、6月のパリ航空宇宙ショー内で開催される世界大会（世界一決定戦）に出場しました。12名の参加に必要な費用（旅費・ロケットエンジンと燃料購入・運搬費用等）の総額約1,400万円に対して、東京都からの助成金約350万円、宇宙航空業界企業からの協賛340万円、クラウドファンディング約750万円で、ほぼ賄うことができました。そのため、同窓生から同窓会の紫友みらい基金にいただいたご寄付約190万円は、SSH教育支援に使わせていただきます。

###### ●運動系クラブ

- ・ユニホーム/ボールケース貸与：女子バレー部
- ・ゴール貸与：ラグロス部
- ・区内体育施設使用料：複数の運動部（アリーナの工事期間〈9～11月〉使用不可のため）
- ・大型扇風機貸与：剣道部※・柔道部※・体操部※  
※これまで剣道場・柔道場（体操部・音楽系クラブ利用含む）に夏から秋までの5か月間、工場用の大型扇風機をレンタル手配して貸与して来ましたが、道場の空調施設が整備されたので、2025年度が最後の貸与となりました。

#### ◆学校生活支援活動

###### ●各種委員会

- ・カメラ/三脚/モニター貸与：映像配信委員会  
※行事週間をはじめ、始業式や終業式など学校内の式典の映像配信のため活用

###### ●YABUSAME TechnologyのFTC参加を同窓生有志が応援

2023年度と2024年度のFRC（FIRST Robotics Competition）参加に続き、現役3年生（2025年度）の山岡蒼司さんを中心とするYABUSAME Technologyが、2025年度は、ロボット&STEM教育活動コンテストであるFTC（FIRST Tech Challenge）に挑戦しました。他校生徒を含

む学校横断型の中高生団体のため同窓会として直接の支援はしませんでした。長谷川真緒理事（077C）、木村薫理事（027C）、鈴木善博会長（029C）がチームを支援しました。ロボット工作の場として今回も東大本郷キャンパスの「メカデザイン工房」を使用でき、また寄付活動やクラウドファンディングを立ち上げ約50万円の活動資金を獲得できました。

2026年1月末に韓国地区でのFTC予選に出場し、残念ながら本選通過とはなりませんでした。72チーム中21位と健闘しました。4月12日には文京シビックセンターで報告会が開催されました。

### ③環境企画局

「小石川の杜プロジェクト」と題し、これまで8回にわたり50本を超える植樹を行ってきましたが、この緑化植樹活動にいったん区切りをつけ、今後はこれまでに植樹した木々の保全活動に注力していきます。

- ◆2025年度は、2024年度に植樹したにもかかわらず枯れてしまったミズナラを同木に植え替える（保証期間につき無償）とともに、壊れたり無くなってしまったりした樹木名札4点の交換を行いました。
- ◆2026年度は、「小石川の杜プロジェクト」ではありませんが2011年に高等学校閉校を記念して植えられた「ハワイ」の4本のトウジュロのうち1本が枯れてしまったため、この植え替えを予定しています。

### ④基金局

#### ◆「紫友みらい基金」について

##### ●2025年度実績

同窓会では紫友みらい基金として、100周年以降110周年まで（2019～2028年度）の10年間で1億円の寄付金を目指しており、2025年度は延べ371名の方から総額約515万円の寄付をいただきました。前年度より約100万円の増で、物理研究会ロケット班支援としての寄付が集中して寄せられたことが大きかったと思われます。

2019年度から7年間の累計は約3,500万円となりました。皆様からの支援に改めて御礼申し上げます。寄付金は同窓会の会計にとって、会費と並ぶ2本目の柱として確立されたと言えると思いますので、引き続きのご支援をよろしくお願い致します。

##### ●返礼品

基金の目標達成のための推進策として「寄付金への返礼品制度」を運用しており、これは、寄付者への御礼であるとともに、返礼品提供者である同窓会員への支援にも繋がっています。この取り組みが会員相互また会員と同窓会の強い絆となり、紫友同窓会の新しい伝統になることを目指しています。

また、2025年度には、新たに「校章入りカードケース」（105周年記念品）、「小石川検定95」（95周年記念品）を追加しました。

##### ●寄付者顕彰

100周年時からの懸案であった高額寄付者の方の顕彰として、100周年記念募金および紫友みらい基金への合計寄付額30万円以上71名（含・匿名"/2025年11月1日現在）のご芳名一覧を紫友スタジオ内に掲示しました。

#### ◆今後の募金活動について

##### ●110周年へ向けて

2026年度の寄付金予算額は昨年度と同額の600万円としましたが、2028年の小石川創立110周年へ向けて、改めて寄付金募集活動を始めたいと考えています。寄付のお願いのためのリーフ

レット作成やニュースレター等での呼びかけの強化等を予定しています。

●新たな返礼品の募集について

返礼品は、ご寄付への感謝の印であると同時に、同窓生が関わっている商品・サービスなどを紹介、応援することを目的としており、返礼品制度を設けた当初から、新たな返礼品の提供を同窓生に広く呼びかけてきました。

昨今、寄付をされても返礼品のお申し込みをされない方が半数に上ります。返礼品を見ると母校を思う気持ちが沸く、返礼品提供者の同窓生を応援したくなる、そんな気持ちが高まるようなラインナップを揃えていきたいと考えています。ご自身の関わる商品・サービスでこれは提供できるというものをお持ちの方、また、そんな同窓生を知っているという方からの情報をお待ちしています。

## ⑤伊藤長七研究委員会

初代校長・伊藤長七の教育思想を研究・情報発信するため、諏訪寒水会とも連携して継続的に活動を行っています。2025年度は、以下の5回にわたり、諏訪市で行われた諏訪寒水会との研究会に参加しました。

2025年5月15日／7月17日／9月18日／11月20日／2026年1月15日

## (2) 同窓会会計対象局

### ①部活後援局

2025年度は活動を行うことができませんでした。

2026年度はまず、「部活後援局長のリクルート」に着手し、各クラブのOB/OG会の代表者を横につなぐ活動を推進します。

### ②広報局

2025年度は以下の活動を行いました。2026年度は、会報、ホームページともに今後のあり方を検討する段階にあるとの認識を持ちつつ活動したいと考えています。

#### ◆会報グループ

会報53号の発行（印刷19,000部）：2025年8月に郵送配付しました。

（内容）

- 紫友同窓会の事業と活動（2024～2025）
  - ・2025年度評議委員会報告（5月24日母校多目的教室）
  - ・新会長に鈴木善博さん（029C）が就任
  - ・各局の活動報告
  - ・紫友オンラインセミナー開催報告（第20回～第22回）
- 『特集 五中・小石川と戦争』（戦後80年の節目にあたり、戦争を直接体験した同窓生の記録文集を掘り起こして紹介）
  - ・少年たちの4月13日－「校舎焼失」（石上会編2003）を読む－
  - ・青年たちの8月15日－G15E組クラス文集「ますらを」の記録－

- 同窓生訪問
  - ・中村 稔さん (G21D) 戦時下の「開拓」発行と五中の青春
  - ・成田 攻さん (014H) 満州からの引揚げ・離別・再会
- 先生お元気ですか
  - ・三浦真智先生 (地理・現代社会) 1982.4～1996.3在任
- わが校友の精神を
  - ①何とかなるぞ。ぽ～ん！－スコットランドの歌を訪ねて－ 高松晃子さん (034G)
  - ②進む道を「創作」する 藤原 (野村) なつみさん (053G)  
(特別寄稿) 伊藤長七校長と旧制第五中学校 ピーター・ケイブさん
- 今、学校では
  - ・2024年度PTA活動報告 PTA会長 村上雅彦様
- 同期会・クラス会 (掲載順)
  - ・013Gクラス会 ・015Eクラス会 ・017Hクラス会 ・020Bクラス会 ・021Gクラス会
  - ・030Dクラス会 ・034Cクラス会 ・044Bクラス会 ・044Eクラス会 ・037Bクラス会
  - ・016Bクラス会 ・030Aクラス会 ・012Eクラス会 ・022第4回学年同期会
- クラブつながり
  - ・軽音楽研究会 ・茶道部創部六十周年記念茶会 ・紫友美術会
- 小石川つながり
  - ・紫友まち歩き ・第六回紫友経済人交流会
  - ・中村稔さんと岡田謙司さん (020D) の対話

#### ◆ホームページグループ

- ・原則として毎月1日、また必要に応じ随時公式ホームページを更新
- ・会報グループと連携し、発行した会報のWeb版を次年度に掲載
- ・上記の維持に加え、2026年度は以下を計画中  
担当者引継ぎ、スマートホン対応、アクセス管理導入、更新作業容易化と共有を目途に構成の刷新

### ③資料局

2025年度は以下のことを行いました。

- 五中・小石川デジタルアーカイブ (<https://koishikawa.wiki/>) の管理
- 上記アーカイブに「017D」「バレー部」といった記事を追加

なお、学校要覧を入手する機会がなく、年度記事の定型項目を作成できませんでした。

また、以下の点について、今後も会員の協力を求めていきたいと考えています。ご協力いただける方は、事務局までご連絡ください。

- 在学中の資料や写真、OB/OG会などの資料の提供
- Wikipedia編集に加わっていただける方の募集

### ④事務局

従来からの定型業務にくわえ、2025年度は、同窓会運営のハブとしての役割を果たせる事務局たる

べく業務の再構築に着手しました。

◆定型業務

会費・寄付金管理／名簿管理／経理処理／予算編成作業／決算報告作成・会計監査対応／  
会報発送（含、生徒・教職員配付）／理事会・評議委員会開催事務／東洋文庫会員証発行  
／中等6年生向け入会説明会開催・入会希望確認／各局・委員会業務補助／学校連絡窓口／  
各種問合せ対応 等

◆2025年度新規担当業務

- 紫友ニュースレター発行（執筆・編集・配信等）
  - ・従来、会長による執筆・編集および協力者による配信作業により発行してきたニュースレター発行の一連の作業を、事務局スタッフによる業務として担当
  - ・PTAとの連携により、PTA執行部を通じた生徒保護者・学校教職員への配信を開始
- Web名簿システムの再開作業
  - ・再開にともなう広報文書作成・公開等
  - ・解除方針に合わせた名簿データの更新（卒業年次に合わせた公開・非公開設定等）
  - ・中等6年生に対するWeb名簿掲載意思確認
- 個人情報データファイルの暗号化（順次作業中）
- 芸能祭直前リハーサル観覧希望者とりまとめ
- 物理研究会ロケット班クラウドファンディング関連出納管理
- 理事会資料・議事録作成の整備
- 文書（紙媒体・電子媒体）保存（保存年限等）の検討開始 等

### （3）特別委員会

#### ①プライバシー委員会

◆プライバシー委員会の発足

同窓会として個人情報を扱ううえで必要な見直しを行うことを目的に、2025年6月21日の理事会でプライバシー委員会を設置することが決議され、プライバシー委員会が発足しました。

委員長：渡邊和真副会長（064B） 副委員長：月田陽子理事・事務局長（029B）

委員：伊藤正俊副理事（019E）、並木隆副理事（022E）、長谷川真緒理事（077C）

◆プライバシーポリシーの改定

同窓会は2012年12月15日にプライバシーポリシーを制定しましたが、その後個人情報保護法が改正されたり社会情勢が変化したりしていることを踏まえ、全面的な見直しを図り2026年3月1日に改定を行いました。

見直し後のプライバシーポリシーは、同窓会としての考え方を示す「個人情報保護方針」と具体的な取扱いなどを示す「個人情報の取扱いの概要」で構成され、改正個人情報保護法に沿ったものになっています。

内容は <https://www.shiyu-dousoukai.jp/privacypolicy.html> からご覧いただけます。

#### ◆Web名簿システムの再開

事務局と協業し、2025年3月に運用を一時停止したWeb名簿システムの再開に向けた点検・是正作業を行いました。Web名簿システムは2026年3月8日に運用を再開しています。

#### ②One小石川プロジェクト

※別紙（P.10～11）をご参照ください。

#### ③110周年準備委員会

2028年、小石川は創立110周年を迎えます。同年に実施する110周年記念式典（総会・記念パーティー等）に向けて、準備委員会を発足させ、準備を開始しました。

- 今回のスタッフ担当年代は036～040回卒業生。現在、参画していただけるスタッフを募集中（現在15名）。
- 2025年度は準備委員会を2回開催。2026年2月に実施した第2回委員会で、委員長に矢野新一郎理事（037B）を選出。
- 当面の課題は、スタッフの拡充、開催規模の想定および会場選定準備であり、当面は3か月に1回程度のペースで委員会を開催予定。

### （4）関係団体

#### 一般財団法人 紫友会

「紫友会」は、学校の教育環境の整備を支援するために、1921年、伊藤長七初代校長の私財と篤志家の出資で設立されました。設立時は校長を理事長、生徒、卒業生、教職員、父兄を会員とし、同窓会のルーツともなった団体ですが、1929年に同窓会が独立し別組織となりました（1948年に生徒会、1950年にPTAが発足して独立）。学校の創立50周年には紫友会館を建設して東京都に寄付。現在は、基本資産（金融資産・土地〈戸隠〉）を原資とした学校支援を行っています。

2025年度も、同窓会との連携のもと、学校支援として、生徒の全国大会参加や海外研修派遣等の費用の一部を助成しました。

## 【別紙】

### One小石川プロジェクトについて

会長 鈴木善博

#### はじめに

「小石川プロジェクト」は、五中・小石川高校・小石川中等教育学校という三つの系譜を、同窓会として一つに束ね、世代と校種を超えて持続的に運営できる基盤づくりを目的としています。各時代の文化や記憶を尊重しながら、「続けられる同窓会」「担い手が自然に育つ同窓会」「三校を一つにつなぐ同窓会」を形にしています。

#### 同窓会運営に関する現状認識

昨年の5月に会長就任で、まず直視したのは構造的なリスクでした。長年の善意により支えられてきたがゆえに見えにくくなっていた問題です。

第一に財務の持続性です。現状のままでは約3年で運転資金が枯渇し、実質的に資金が尽きる見通しが明らかになりました。これは数字に基づく現実です。

第二に資金管理リスクです。任意団体でありながら相応の資金と寄付も法人格や明確なガバナンスなしに預かっています。万一の際、責任の所在が曖昧となり、個人への負担が集中する懸念があります。

第三に特定個人への依存です。これまでは個々の献身に支えられてきましたが、その方が担えなくなれば成り立たなくなる不安定さも抱えています。

以上を踏まえ、現状のままでは永続は困難と判断しました。これまでの同窓会の積み重ねを土台に、組織・資金・責任・役割分担を見直し、「善意の集まり」から「**持続可能な仕組み**」へ進化させるための検討を開始します。ご理解いただければ幸いです。

#### 法人比較

Ai(Copilot)を活用し、紫友同窓会が相当規模の寄付金（みらい基金含む）を運営していることを前提に整理しました。最大の論点は「任意団体の限界」と「責任・信頼の不明確さ」でした。

##### ① 任意団体のまま（× 限界）

最大の問題は、寄付金の最終責任が個人に帰属し、資産・会計の帰属が曖昧で、寄付者への説明責任や信頼が制度的に担保されないという点です。「問題が起きていない」状態でも、万一の際は個人が法的・社会的責任を負うリスクがある。

##### ② 一般社団法人（☑ 現実解）

資産・契約・責任を法人に帰属でき、ガバナンスを制度化できる点で、現状の最大課題（責任と信頼）を解消できます。一方、税制優遇は限定的で、公益性の説明は継続的に必要です。

##### ③ 一般財団法人（△ 限定的）

資産管理には強いが、運営が重く機動性に欠け「人の集まり」である同窓会本体には適合性が低い。

##### ④ 公益財団法人（◎ 理想だが高難度）

信頼性と税制優遇は最も強いが、認定ハードルが高く、運営制約・負荷が大きいため、準備不足での移行はリスクとなります。

## まとめ（問題の核心）

問題が起きていない≠「問題がない」では法的・社会的責任を負いかねない任意団体では「資金規模に対して責任と信頼の構造が追いついていない。優先課題は「責任の法人化」と「ガバナンスの明確化」を目指します。

形態	寄付規模適合	ガバナンス	信頼性	総合評価
任意団体	×	×	×	× 限界
一般社団法人	☑	☑	○	☑ 現実解
一般財団法人	○	☑	○	△ 限定的
公益財団法人	◎	◎	◎	◎ 理想（基金運営として）

## Ai Copilot から現実解・王道ルートへの提案

紫友同窓会本体 非営利型 一般社団法人  
人・ネットワーク・意思決定の器

寄付金管理・助成事業 公益財団法人（現みらい基金）  
寄付・社会的インパクト（学校支援含む）創出の器

## 具体検討の開始について

検討結果については、今後の評議委員会にてご報告し、具体化を図ってまいります。まずは、**具体化に向けた検討開始**についてご承知おきください。

### 1. PJ体制

リーダー 033B 今村郁男 理事  
メンバー 029A 後藤光弥 副理事  
メンバー 029C 鈴木善博 会長  
メンバー 033D 有働武文 副理事  
メンバー 037A 小嶋 勇 理事

### 2. 大日程

2028年の110周年寄付金募集時に、**公正な受け皿を整備することを目標に、正式検討を進めます。**

<目標イメージ>

2027年4月 紫友同窓会を一般社団法人化し運営開始

2028年4月 公益財団法人を立ち上げ、寄付等の資産・財産を分離

※「人の集まり」としての機能は一般社団法人で継続

以上

# ● 1号議案

## 紫友同窓会2025年度決算報告ならびに監査報告

2025年4月1日～2026年3月31日

### I. 2025年度収支実績

#### 1. 収支総括

(単位：円)

	2024年度実績	2025年度予算	2025年度実績	予算比(実績-予算)	備 考
前期繰越金 (A)	27,231,133	27,990,026	27,990,026	0	
当年度収入計 (B)	7,038,266	7,195,000	7,156,278	-38,722	
総収入合計 (C=A+B)	34,269,399	35,185,026	35,146,304	-38,722	
年度支出合計 (D)	6,279,373	7,655,000	7,444,936	-210,064	
次期繰越金 (E=C-D)	27,990,026	27,530,026	27,701,368	171,342	
当年度収支 (F=B-D)	758,893	-460,000	-288,658	171,342	

#### 2. 収入

単位：円)

収入内訳	2024年度実績	2025年度予算	2025年度実績	予算比(実績-予算)	備 考
i) 年会費	5,928,000	6,000,000	6,008,000	8,000	納入者3004名(対象者約18,000名)
ii) 入会金	828,000	840,000	882,000	42,000	078回中等教育学校卒業生 147名(辞退者5名)
iii) 利息	12,266	15,000	56,278	41,278	
iv) 寄付	0	0	0	0	基金募金分は基金事業特別会計に計上
v) 広告料	270,000	340,000	210,000	-130,000	会報掲載広告
当年度収入計 (B)	7,038,266	7,195,000	7,156,278	-38,722	
前期繰越金 (A)	27,231,133	27,990,026	27,990,026	0	貸借対照表の※1
総収入合計 (C=A+B)	34,269,399	35,185,026	35,146,304	-38,722	

#### 3. 支出

支出内訳	2024年度実績	2025年度予算	2025年度実績	予算比(実績-予算)	備 考	
局 運 営 費	①部活後援局	0	70,000	0	-70,000	OB・OG活動支援関連会議費等
	②広報局	43,793	56,000	52,003	-3,997	会報制作関連交通費、消耗品費等
	③資料局	0	10,000	0	-10,000	資料室/デジタルアーカイブ維持管理関連会議費等
	④事務局	8,772	10,000	6,298	-3,702	総務庶務、法務対応・資料作成等
	小計 (d1)	52,565	146,000	58,301	-87,699	
事 業 費	①部活後援局	0	400,000	0	-400,000	OB・OG活動支援
	②広報局	1,870,000	1,950,000	1,970,520	20,520	会報制作費、創作展パネル作成等
	③資料局	0	0	0	0	資料室/デジタルアーカイブ維持管理
	④事務局	603,455	600,000	603,455	3,455	名簿システム使用料
		150,380	150,000	155,040	5,040	卒業記念品
	107,812	165,000	123,580	-41,420	プロバイダ・サーバー利用料、IT環境整備等	
	60,000	30,000	80,000	50,000	東洋文庫会費(2026年度分)	
小計 (d2)	2,791,647	3,295,000	2,932,595	-362,405		
事 務 運 営 費	1.人件費	651,529	850,000	1,117,597	267,597	事務局員(常勤1.5人)[*]
	2.消耗品備品費	787,598	890,000	1,223,421	333,421	会報発送関連、不明者一覧印刷、北機・プリンタ等
	3.光熱費	49,722	50,000	44,253	-5,747	事務局電気料金
	4.郵送料	1,305,318	1,594,000	1,408,236	-185,764	会報発送、委員会案内状発送、切手等
	5.電話代	53,719	70,000	82,515	12,515	事務局電話料金
	6.振込手数料	508,366	600,000	521,458	-78,542	郵便振替、銀行振込、自動引落手数料他
	7.会議費	75,884	65,000	55,000	-10,000	評議委員会懇親会費用補填、茶菓等
	8.慶弔費	0	30,000	0	-30,000	弔電、供花
	9.交通費	0	5,000	0	-5,000	事務局員交通費
	10.雑費	3,025	10,000	1,560	-8,440	カード年会費等(事務局)
小計 (d3)	3,435,161	4,164,000	4,454,040	290,040		
予備費 (d4)	0	50,000	0	-50,000		
当年度支出合計 (D=d1+d2+d3+d4)	6,279,373	7,655,000	7,444,936	-210,064		
次期繰越金 (E=C-D)	27,990,026	27,530,026	27,701,368	171,342	※3	
総収入合計 (C=D+E)	34,269,399	35,185,026	35,146,304	-38,722		
当年度収支 (F=E-A)	758,893	-460,000	-288,658	171,342	※2	

[\*] 事務局分1.5人/基金事業分1.5人、合計3人

II. 2025年度貸借対照表

(単位：円)

科目	金額	備考	科目	金額	備考
資産の部			負債・正味資産の部		
流動資産	42,490,881		流動負債	14,789,513	
現金預金	42,490,881		基金寄付預り金	14,789,513	
			正味資産		
			(前期正味資産)	27,990,026	※1
			(当期正味資産増減)	-288,658	※2
			当期正味資産	27,701,368	※3
資産の部計	42,490,881	※4	負債・正味資産の部計	42,490,881	

当期正味資産（次期繰越金）の内訳 (単位：円)

内訳	金額	備考
預金 みずほ銀行	37,051,027	
内訳		
定期_1800459	11,000,000	
普通_0520754	199,070	
普通_0629241	24,560,942	
普通_8062046	1,291,015	
貯金 郵貯銀行	5,439,854	
内訳		
貯金_67962181	882,538	
振替_2-11869	4,557,316	
預貯金合計	42,490,881	
その他資産		
資産合計（次期繰越金）	42,490,881	※4

(注) この他に、紫友スタジオ分敷金322,224円がある。

以上の通り報告いたします。

2026年5月1日

会長 鈴木善博

2025年度会計の原簿及び諸証拠書類を照会した結果、正確に処理されていることを認めます。

2026年5月1日

監事 高橋俊一 ㊞

監事 鈴木由美子 ㊞

## 2025年度基金事業に関する決算報告書

2025年4月1日～2026年3月31日

### I. 2025年度収支実績

#### 1. 収入

(単位：円)

収入内訳	2024年度実績	2025年度予算案	2025年度実績	予算比 (実績-予算)	備考
寄付金	4,047,394	6,000,000	5,158,322	-841,678	
利息	5,139	6,000	19,420	13,420	預け金[*1]の利息
収入計 (A)	4,052,533	6,006,000	5,177,742	-828,258	
前期繰越金 (B)	27,610,366	24,870,087	24,870,087	0	※1
収入総計 (A+B)=C	31,662,899	30,876,087	30,047,829	-828,258	

#### 2. 支出

支出内訳	2024年度実績	2025年度予算案	2025年度実績	予算比 (実績-予算)	備考	
局 運 営 費	①交流局	69,695	356,000	26,665	-329,335	紫友スタジオ消耗品、交通費等
	②教育支援局	9,875	15,000	5,290	-9,710	会議費、交通費、郵送料
	③環境企画局	0	40,000	0	-40,000	小石川の杜PJは中断
	④基金局	0	10,000	0	-10,000	
	⑤伊藤長七研究委員会	88,247	139,000	95,780	-43,220	諏訪寒水会、小諸寒水会出張旅費
	⑥110周年事業	0	200,000	0	-200,000	
小計	167,817	760,000	127,735	-632,265		
事 業 費	①交流局	2,056,243	4,021,600	1,747,398	-2,274,202	賃料(含電話・備品代)、オンラインセミナー等
	②教育支援局	2,891,563	8,370,000	2,638,672	-5,731,328	学校支援(授業、SSH、部活・委員会活動等)
	③環境企画局	885,500	1,020,000	0	-1,020,000	小石川の杜PJは中断
	④基金局	132,360	1,300,000	177,490	-1,122,510	寄付返礼品代金
	⑤伊藤長七研究委員会	0	100,000	0	-100,000	
	⑥110周年事業	0	0	0	0	
小計	5,965,666	14,811,600	4,563,560	-10,248,040		
事 務 運 営 費	1.人件費	659,329	1,160,000	1,126,247	-33,753	事務局員(常勤1.5人)[*2]、紫友スタジオ*1管理人(1人)
	2.OPP封筒代	0	0	0	0	
	3.宛名台紙作成・印刷	0	0	0	0	
	4.封入作業費	0	0	0	0	
	5.局出し費用・郵送料	0	850,000	0	-850,000	DM送料 (基金局)
	6その他経費	0	0	0	0	
小計	659,329	2,010,000	1,126,247	-883,753		
予備費	0	200,000	0	-200,000		
支出合計(D)	6,792,812	17,781,600	5,817,542	-11,964,058		
次期繰越金 (C-D)=E	24,870,087	13,094,487	24,230,287	11,135,800		
再計 (D+E)	31,662,899	30,876,087	30,047,829	-828,258		
当年度収支 (A-D)	-2,740,279	-11,775,600	-639,800	11,135,800		

[\*2] 事務局分1.5人/基金事業分1.5人、合計3人

Ⅱ. 2025年度貸借対照表

(単位：円)

科目	金額	備考	科目	金額	備考
資産の部			負債・正味資産の部		
流動資産	9,440,774		正味資産		
現金預金	9,440,774	百周年寄付預け口座 [*1]	前期正味資産	24,870,087	※1
未収金	14,789,513	みらい基金	当期正味資産増減	-639,800	
			当期正味資産	24,230,287	
資産の部計	24,230,287		負債・正味資産の部計	24,230,287	

当期正味資産（次期繰越金）の内訳 (単位：円)

内訳	金額	備考
預金 みずほ銀行	9,440,774	
内訳 普通_1254954	9,440,774	寄付金の紫友会への預け金[*1]
預貯金合計	9,440,774	
その他資産	未収金	14,789,513
		みらい基金
資産合計（次期繰越金）	24,230,287	

以上の通り報告いたします。

2026年5月1日

会長 鈴木善博

2025年度会計の原簿及び諸証拠書類を照合した結果、正確に処理されていることを認めます。

2026年5月1日

監事 高橋俊一 ㊟

監事 鈴木由美子 ㊟

# ● 2号議案

## 2026年度 同窓会運営に関する予算案

### 1. 収入

収入内訳	2026年度予算案	2025年度予算	2025年度実績	26予算-25実績	26予算-25予算	備考
年度会費	6,000,000	6,000,000	6,008,000	-8,000	0	納入者3,000人(@2千円)想定 ※対象者約1.8万人
入会金	840,000	840,000	882,000	-42,000	0	入会 140人(@6千円)想定
利息	50,000	15,000	56,278	-6,278	35,000	預貯金利息
寄付	0	0	0	0	0	※みらい基金事業に計上
広告料	200,000	340,000	210,000	-10,000	-140,000	会報掲載広告料
当年度収入計(A)	7,090,000	7,195,000	7,156,278	-66,278	-105,000	
前年度繰越金(B)	27,701,368	27,990,026	27,990,026	-288,658	-288,658	
収入総計(A+B)=C	34,791,368	35,185,026	35,146,304	-354,936	-393,658	

### 2. 支出

支出内訳	2026年度予算案	2025年度予算案	2025年度実績	26予算-25実績	26予算-25予算	備考
<b>局運営費</b>						
①部活後援局	40,000	70,000	0	40,000	-30,000	会議費、消耗品費、旅費交通費等
②広報局	28,000	56,000	52,003	-24,003	-28,000	取材費、会議費、消耗品費等
③資料局	10,000	10,000	0	10,000	0	資料室/デジタルアーカイブ維持管理費、消耗品費等
④事務局	10,000	10,000	6,298	3,702	0	消耗品費等
⑤110周年事業	90,000			90,000	90,000	会議費、消耗品費、旅費交通費等
小計	178,000	146,000	58,301	119,699	32,000	
<b>事業費</b>						
①部活後援局	200,000	400,000	0	200,000	-200,000	OB・OG会活動支援費等
②広報局	1,770,000	1,950,000	1,970,520	-200,520	-180,000	広報物(会報他)製作費等
③資料局	0	0	0	0	0	
④事務局	610,000	600,000	603,455	6,545	10,000	名簿システム使用料
	160,000	150,000	155,040	4,960	10,000	卒業記念品代
	165,000	165,000	123,580	41,420	0	プロバイダ・サーバー利用料、IT環境整備費等
	80,000	30,000	80,000	0	50,000	東洋文庫ミュージアム会費(前年度未払い)
⑤110周年事業	600,000			600,000	600,000	110周年記念事業用積立
小計	3,585,000	3,295,000	2,932,595	652,405	290,000	
<b>事務運営費</b>						
1.人件費	1,250,000	850,000	1,117,597	132,403	400,000	事務局員(常勤)1.5人
2.消耗品備品費	1,500,000	890,000	1,223,421	276,579	610,000	会報発送準備費(宛名用紙・封筒作成)、PC・コピー機リース代、プリンタ関連費用、印刷費等
3.光熱費	60,000	50,000	44,253	15,747	10,000	事務局電気料金
4.郵送料	1,500,000	1,594,000	1,408,236	91,764	-94,000	会報封入・発送費、会議等案内状発送費、切手代等
5.電話代	90,000	70,000	82,515	7,485	20,000	事務局電話料金
6.振込手数料	600,000	600,000	521,458	78,542	0	郵便振替・銀行振込・自動引落手数料等
7.会議費	60,000	65,000	55,000	5,000	-5,000	評議委員会/ホームカミングデー懇親会補填費、茶菓代等
8.慶弔費	30,000	30,000	0	30,000	0	弔電・供花等
9.交通費	5,000	5,000	0	5,000	0	事務局員交通費
10.雑費	10,000	10,000	1,560	8,440	0	印紙代、事務局クレジットカード年会費等
小計	5,105,000	4,164,000	4,454,040	650,960	941,000	
予備費	550,000	50,000	0	550,000	500,000	
当年度支出合計(D)	9,418,000	7,655,000	7,444,936	1,973,064	1,763,000	
次期繰越金(C-D)=E	25,373,368	27,530,026	27,701,368	-2,328,000	-2,156,658	
再計(D+E)	34,791,368	35,185,026	35,146,304	-354,936	-393,658	
当年度収支(A-D)	-2,328,000	-460,000	-288,658	-2,039,342	-1,868,000	

## 2026年度 紫友みらい基金事業に関する予算案

### 1. 収入

収入内訳	2026年度予算案	2025年度予算	2025年度実績	26予算-25実績	26予算-25予算	備考
寄付金	5,000,000	6,000,000	5,158,322	-158,322	-1,000,000	
利息	6,000	6,000	19,420	-13,420	0	創紫友会預け金利息
当年度収入計(A)	5,006,000	6,006,000	5,177,742	-171,742	-1,000,000	
前年度繰越金(B)	24,230,287	24,870,087	24,870,087	-639,800	-639,800	
収入総計(A+B)=C	29,236,287	30,876,087	30,047,829	-811,542	-1,639,800	

### 2. 支出

支出内訳	2026年度予算案	2025年度予算案	2025年度実績	26予算-25実績	26予算-25予算	備考
<b>局運営費</b>						
①交流局	101,000	356,000	26,665	74,335	-255,000	会議費、印刷費、消耗品費(含・紫友スタジオ用)、交通費等
②教育支援局	13,000	15,000	5,290	7,710	-2,000	会議費、印刷費、消耗品費、交通費等
③環境企画局	0	40,000	0	0	-40,000	※小石川の杜プロジェクト休止中
④基金局	10,000	10,000	0	10,000	0	会議費、印刷費、消耗品費、交通費等
⑤伊藤長七研究委員会	139,000	139,000	95,780	43,220	0	諏訪寒水会・小諸寒水会出張旅費
⑥110周年事業		200,000	0	0	-200,000	※同窓会運営に関する予算に変更
小計	263,000	760,000	127,735	135,265	-497,000	
<b>事業費</b>						
①交流局	2,445,000	4,021,600	1,748,668	696,332	-1,576,600	紫友スタジオ賃料、オンラインセミナー運営費、学年同期会等支援費等(含・110周年記念事業用局内積立20万)
②教育支援局	2,200,000	8,370,000	2,638,672	-438,672	-6,170,000	学校支援費(授業・SSH・部活・委員会活動等物品購入・旅費交通費補助等)
③環境企画局	630,000	1,020,000	0	630,000	-390,000	「ハワイ」シロ植替え
④基金局	1,300,000	1,300,000	176,220	1,123,780	0	寄付募券/パンフレット作製費、返礼品代金等
⑤伊藤長七研究委員会	100,000	100,000	0	100,000	0	セミナー開催費、資料作成費等
小計	6,675,000	14,811,600	4,563,560	2,111,440	-8,136,600	
<b>事務運営費</b>						
1.人件費	1,260,000	1,160,000	1,126,247	133,753	100,000	事務局員(常勤)1.5人、紫友スタジオ管理1人
2.OPP封筒代	0	0	0	0	0	基金局(DM用)
3.宛名台紙作成・印刷費	0	0	0	0	0	基金局(DM用)
4.封入作業費	100,000	0	0	100,000	100,000	基金局(DM用)
5.局出し費用・郵送料	750,000	850,000	0	750,000	-100,000	基金局(DM・返礼品送料)
6.その他経費	0	0	0	0	0	
小計	2,110,000	2,010,000	1,126,247	983,753	100,000	
予備費	200,000	200,000	0	200,000	0	
当年度支出合計(D)	9,248,000	17,781,600	5,817,542	3,430,458	-8,533,600	
次期繰越金(C-D)=E	19,988,287	13,094,487	24,230,287	-4,242,000	6,893,800	
再計(D+E)	29,236,287	30,876,087	30,047,829	-811,542	-1,639,800	
当年度収支(A-D)	-4,242,000	-11,775,600	-639,800	-3,602,200	7,533,600	

### ●3号議案 変更後の体制

	卒年・組	氏名	任期	分掌事項、備考
会長	029	C 鈴木 善博	1期2年目	交流局担当(暫定)
副会長	032	I 富田 晴彦	1期2年目	教育支援局・部活後援局担当、110周年行事
副会長	039	J 久光 一誠	2期2年目	資料局・基金局担当、基金の再構築
副会長	064 中等1期	B 渡邊 和真	1期2年目	運営全般
理事	023	C 古山 光久	3期2年目	伊藤長七研究委員会 委員長
理事	027	C 木村 薫	2期2年目	教育支援局 局長
理事	029	B 月田 陽子	1期2年目	事務局 局長、ニュースレター主管
理事	033	B 今村 郁男	2期2年目	One小石川プロジェクト、部活後援局
理事	036	D 松田 圭子	2期1年目	広報局 局長(会報)、IT構築・オンライン・セミナー
理事	037	A 小嶋 勇	新任(2026年3月)	One小石川プロジェクト、オンライン・セミナー
理事	037	B 矢野新一郎	新任(2025年11月)	110周年記念事業、オンライン・セミナー、ホームページ
理事	045	B 宮山 尚之	新任(2026年5月)	母校支援(2026年5月より)
理事	077 中等14期	C 長谷川真緒	1期2年目	教育支援局、オンライン・セミナー
副理事	018	I 河井 興正	1期2年目	相談役
副理事	021	A 岡村 幸二	1期2年目	相談役
副理事	022	D 杉渕 武	1期2年目	基金局
副理事	022	E 並木 隆	1期2年目	広報局
副理事	025	E 土屋 光章	新任(2026年5月)	紫友経済人交流会
副理事	028	C 小堤 康史	1期2年目	(一般財団法人)紫友会 理事長
副理事	029	A 後藤 光弥	新任(2025年11月)	One小石川プロジェクト
副理事	029	C 草野 頼子	新任(2025年11月)	同窓会会報の編集
副理事	030	H 笠原 盛泰	新任(2026年5月)	交流局 紫友経済人交流会
副理事	033	D 有働 武文	新任(2026年5月)	One小石川プロジェクト
副理事	035	C 虫明智恵子	1期2年目	広報局
副理事	055	A 小原 洋平	新任(2026年5月)	母校支援
副理事	078 中等15期	D 三宅 明信	新任(2026年5月)	教育支援局、オンライン・セミナー
監事	019	E 高橋 俊一	3期2年目	理事の活動および会計の監査、ホームページ
監事	021	G 鈴木由美子	1期2年目	理事の活動および会計の監査

以上